

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【札幌キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	A		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	S
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【秋田キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	A		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	A		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル	デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A			
			ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A			
			進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A	
						進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A	
		1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。				A		
		二者面談・三者面談			生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
	情報モラル教育			スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	B			
	生活指導			マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A			
	保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A			
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。					A			
単位認定			単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A			
校務			自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A	
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。			A			

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【盛岡キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	S		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	A		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【宮古キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	A
		学習指導	個別最適・自主学习の実践	個別最適・自主学习	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
		添削指導	添削指導		生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
		単位認定	単位認定試験		教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができています。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。		
--	--	--

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【仙台キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	S		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	S
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【新潟キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習＝PBL(Project Based Learning)＋SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	B		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	B
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	B
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			A		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	B		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【高田キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	A
		学習指導	個別最適・自主学习の実践	個別最適・自主学习	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
		添削指導	添削指導		生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
		単位認定	単位認定試験		教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができています。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。		
--	--	--

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【郡山キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	B		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	B		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	B		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	B		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【長野キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
			校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。				S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【宇都宮キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	S		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	S
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			S		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
			校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。				A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【高崎キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	S
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
			校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。				S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【川越キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	S		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【埼玉キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	S		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	S
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			S		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	S		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携者	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【柏キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	B		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携者	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【千葉キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習＝PBL(Project Based Learning)＋SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	S		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	S
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携者	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【東京四ッ谷キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
			校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。				A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【秋葉原キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	A		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	B
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			A		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
			校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
	生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。				A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【立川キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習＝PBL(Project Based Learning)＋SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			S		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル	デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	S			
			ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S			
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【町田キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	A		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	A		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			S		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	S		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【横浜キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価	
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価	
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	A	
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S	
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A	
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S	
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S	
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	B	
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S	
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S	
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	A	
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	A	
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A	
				学習指導	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
					高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
					大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。		A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。		A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。		A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。		A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。		S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル	デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S	
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S	
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A	
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S	
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S	
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S	
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S	
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S	
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S	
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S	
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S	
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	A	
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A	
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S	
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A	
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S	
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A	
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A	
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A	

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【湘南藤沢キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			S		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	S		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	S		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【甲府キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	A		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	A		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	A		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	B		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	B
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	A		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	A		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	A		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【静岡キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	B		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			A		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			B		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			A		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【伊東キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	S
		学習指導	個別最適・自主学习の実践	個別最適・自主学习	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
		添削指導	添削指導		生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
		単位認定	単位認定試験		教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。		
--	--	--

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【島田キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	S
		学習指導	個別最適・自主学習の実践	個別最適・自主学習	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	A
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。		
--	--	--

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【浜松キャンパス】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	「デジタル自分未来史ファイル(通称D－FILE)」の全学年実施と「成長実感発表会」での自身の成長軌跡の発露による成長促進。
◎独自のキャリア教育「コミュニティ共育」の推進・深化	地域との連携含め「独自のプロジェクト型学習=PBL(Project Based Learning)+SEL(Social Emotional Learning)の確立と展開・拡大による地域貢献、進路発見。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適化・自立型学習(マイブラ)」を中心に授業特性[知識定着型対面授業/アクティブラーニング型追究・活用型授業(ライブ配信型・対面型)]の組み合わせによる「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価		
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価		
	第一学院独自の指導プログラム	生徒指導	プラスサイクル指導	実践度表	自分自身と向き合いプラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう教職員用成長度実践表を用い成長を支援・指導することができている。	S		
				ピアサポート活動	同じような悩みや課題を持つ生徒が繋がり、支え合う活動を支援・指導することができている。	S		
				セルフケア講座	心を健康に保つためのセルフケア講座を実施し、生徒自らストレス・ケアできるよう知識や情報を身につける指導・支援を行っている。	A		
				コミュニケーション講座	自分のことも、周りのことも認め、社会で活躍できる良いコミュニケーションをとれる力の育成・支援ができている。	S		
				成長実感発表会	成長実感発表会を発露として生徒の成長機会を設定し、成長実感を促進している。	S		
				成長度MAP	生活面や学習面での自分の「今」を記録、可視化し、プラス思考で自分を意欲喚起する力を身につけられるよう生徒用成長度MAPを用い成長を支援・指導することができている。	A		
				ボランティア活動	ボランティア活動を中心としたコミュニティ共育を実践できている。	S		
			コミュニティ共育	ジョブシャドウイング	進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組めている。	S		
				夢授業(しごと講話)	地域と繋がりのある方々から、仕事や働くことの意義を学ぶ「しごと講話」授業を行いキャリア教育に取り組めている。	S		
				地域連携活動	地域活動(イベントなども含む)等に取り組み、連携を図っている。	S		
				すらら	中学校の学習内容から高等学校の基礎学習内容まで学べるAI学習システム「すらら」を使用し、基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A		
				学習指導	個別最適化・自立型学習の実践	個別最適化・自立型学習法 マイブラ	第一学院共通の個別最適化・自立型学習法 マイブラ(マイ・プラスサイクル学習法、マイ・プラスサイクル思考、マイ・プラン、マイ・プラットフォームの総称)を通し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
						高校基礎講座	ライブ配信授業と教室での対面授業のそれぞれの利点を活かし基礎学力の定着を図る指導・支援ができている。	A
						大学受験講座	生徒個々の理解度に合わせ、個別最適な学習環境を提供するWeb映像配信授業「ウィングネット」を使用し難関大学受験にも対応した学習指導・支援ができている。	A
		総合型選抜対策講座	進路を起点に日々の学習活動とPBL×SEL(プロジェクト型学習×社会情動学習)の相乗的な課題解決型学習の指導・支援ができている。			S		
		全国ネットワーク型配信授業	生徒個々の進路に合わせ、全国同時配信型授業を活用し学習指導・支援ができている。			A		
		プロジェクト型学習(PBL×SEL)	プロジェクト型学習(PBL)と社会性と情動の学習:Social Emotional Learning(SEL)の実践を通じ、自ら考え、問いかけ、課題を発見し、協働・解決する力を養う指導・支援ができている。			S		
		e-ポートフォリオ	学びの記録や振り返り、課外活動での成果物などをデータ(デジタル自分未来史ファイル:D-FILE)で記録し、生徒の成長実績と経過を可視化し、ポートフォリオとして、学びや活動を証明し、進路につながる指導・支援ができている。			A		
		他喜力	相手の立場に立って行動することの大切さに気づかせる指導を実践している。			S		
		ICT教育	デジタル自分未来史ファイル		デジタル自分未来史ファイル(D-FILE)による生徒の成長実感教育を推進している。	A		
			ICTの利活用		ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を推進している。	S		
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S		
					進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	S		
					1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	S		
				二者面談・三者面談	生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	S		
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S		
				情報モラル教育	スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A		
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S		
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話や第一学院専用ポータルサイトのメッセージ活用などで連絡を取り合い、アンケート等も実施して常時連携を図っている。	S		
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S		
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S		
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している	S		
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S		
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	S		
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S		
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	S		
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	S		
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	S		

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【掛川キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	S
		学習指導	個別最適・自主学习の実践	個別最適・自主学习	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	S
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	A
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
		添削指導	添削指導		生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	S
		単位認定	単位認定試験		教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができています。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。
--

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【中目黒キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	A
		学習指導	個別最適・自主学習の実践	個別最適・自主学習	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	A
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	A
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	A
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	S
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
			添削指導	添削指導	生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
			単位認定	単位認定試験	教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができている。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間: 令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象: 理事教職員(常勤)全員 評 価: 4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。

2024年度 第一学院高等学校 高萩校 学校評価【銀座キャンパス(提携法人)】

1 当年度の重点目標

項目	内容
◎独自の意欲喚起教育「プラスサイクル指導」の深化	本校と連携して、生徒の成長をプラスサイクル指導を通して支援・指導。
◎専門分野における独自のキャリア教育の推進・深化	専門分野において、主体的に学び高度な技能・技術を身につけ、希望進路の実現を目指す。
◎ICTを活用した教科学習による学習意欲の向上	従来の集団一斉対面授業中心からICT活用の「独自の個別最適・自主学习」を中心に「学習意欲の向上・学力の定着」を図る。

2 本年度の取り組み内容及び自己評価

目指すべき生徒像	「プラスサイクル思考」と「他喜力発揮」の実践					自己評価
「いつでも、何事にも、前向きにチャレンジする『プラス思考の自分』づくり」ができる生徒を育てる	指導・支援の種別		評価の観点	教育内容	評価項目	評価
	独自の指導プログラム	指導生徒	プラスサイクル指導	生徒指導	本校と連携して、プラス思考で生徒の成長を支援・指導することができている。	S
		学習指導	個別最適・自主学习の実践	個別最適・自主学习	本校と連携し、生徒一人ひとりに合った学びで理解を深める指導を行っている。	A
			専門教育	専門科目指導	専門分野に特化した学習に生徒が主体的に取り組めるよう指導を行っている。	A
			ICT教育	ICTの利活用	ICTの特性を活かした個別最適化・自立型学習を通じて、生徒の主体的、意欲的な学習を本校と連携して推進している。	S
		進路指導	進路指導	生徒主体の進路指導	本校と連携して、生徒、保護者に進路に関する必要な情報をわかりやすく提供し、生徒意思を尊重した進路指導を実践している。	S
					本校と連携して、進路ガイダンスやジョブシャドウイングにより、生徒の職業観や勤労観を育むキャリア教育に取り組んでいる。	A
					本校と連携して、1年次から3年間の積み上げ型の進路指導が確立できている。	A
				二者面談・三者面談	本校と連携して、生徒、保護者との面談を行い、意思疎通をはかりながら進路指導を実践している。	A
		生徒指導	生徒指導	いじめ対策	本校と連携して、いじめ等が起こらない環境づくりを行い、問題発生時には組織的に対応できる仕組みを構築している。	S
				情報モラル教育	本校と連携して、スマートフォンを中心とした情報機器の正しい使い方やSNS利用などのネットモラルについて指導している。	A
				生活指導	マナーや身だしなみ、言葉遣い、挨拶等の指導を実践している。	S
		保護者連携	保護者連携	保護者連携	生徒や保護者と電話やメッセージ活用などで連絡を取り合い、常時連携を図っている。	A
	教育課程（通信制課程）に基づく学習指導	学習指導	面接指導	スクーリング	多様な生徒実態に応じた柔軟な面接指導を行っている。	S
					わかりやすい授業実践を心がけ、基礎学力をしっかりと定着させる指導を行っている。	S
					教科科目の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
					生徒の意欲喚起に重点をおいた面接指導を推進している。	A
					教員自らの指導力を高める為の教材研究や指導方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
					教科の狙いに応じたメディア教材を適切に活用している。	A
		添削指導	添削指導		生徒の基礎学力向上と学習意欲の向上につながる添削指導を行っている。	A
					生徒が主体的かつ計画的に学習できるよう支援を行っている。	A
		単位認定	単位認定試験		教育課程に沿った高校生としての基礎学力定着に繋がる指導・支援ができています。	A
	校務	自己啓発・改善	プラスサイクル指導	キャンパス指導	本校と連携して、教員自らの指導力を高める為の指導・支援方法の改善、自己啓発(新たな学び)に努めている。	A
				生徒対応時間の創出	組織的に効率的な校務遂行方法を工夫し、教職員の働き方の改善に努め、教員自身の新たな学びの時間創出と、生徒と向き合う時間の創出している。	A

3 アンケート概要

実施期間:令和7年4月7日(月)～5月9日(金) 対 象:理事教職員(常勤)全員 評 価:4段階評価(4◎・3○・2△・1×)で自己評価後S(4.0～3.2)・A(3.1～2.4)・B(2.3～1.6)・C(1.5以下)で評価する。		
--	--	--